



5 国府中ミニサロン



5 石岡市

開催日及び開催頻度	
月1回(第2木曜日) 9:30~11:00	
開催拠点	石岡市立国府中学校
代表者氏名	石原 亜矢子
1回の参加人数	17名
参加費 (1人1回あたり)	0円
広報方法	チラシ・社会福祉協議会広報誌・学校のお知らせなど随時行っている



開催地域の様子



- サロン開催地域は、石岡市街地の南部に位置し、旧来の住宅と商店の立ち並ぶ地域です。以前は商業地区であったが、近年は閉店する店が多く一部シャッター通りとなっています。また、若い世代の転入は少なく、高齢化が進み、地域の結びつきが希薄になってきています。
- 特に新型コロナウイルスの感染拡大以降は住民どうしの交流の希薄化が顕著です。このためサロン活動が地域の結びつきや助け合い活動に有効な手段になっています。
- 開催場所の中学校は、昭和59年4月開校の比較的新しい学校であるが、生徒数140人と小規模校であるため生徒どうしの連帯感も強いです。

サロンに取り組む動機・サロンの将来像



- 高齢化の進展により、地域の結びつきが希薄になり、孤立する高齢者も多くなっています。そのため、地域の高齢者や若い世代が学校に気軽に集まって、学校や生徒への支援を通して、地域の交流の推進、高齢者の社会参加、生きがいをづくり、健康づくりを目的に開設しました。
- コロナ禍においても地域の結びつきを絶やさず、高齢者等がいきいきと暮らせる地域にするため今後は、参加者を増やすことと、開催回数を増やして、サロンを拠点に高齢者の社会参加と地域の交流活動を促進していきたいです。



サロン運営上の協力者



- 石岡市社会福祉協議会
- 石岡市高齢福祉課
- 石岡市地域包括支援センター
- 教育委員会
- 民生委員児童委員協議会
- 町内会(長)

運営費の確保方法



- 石岡市社会福祉協議会からの助成金(10,000円)(不足する場合は、会員が負担)



連携先・協働先



- 開催場所は、中学校から無料で借用しており、サロン活動の立ち上げを社会福祉協議会広報誌でPRしています。
- 社会福祉協議会からはサロン立ち上げ時の指導や助成金の交付を受けるとともに、職員から定期的に事業の支援をしていただいています。
- 地域女性の会や民生委員からのサロン参加者が多いです。



サロンのウリ



- 第一回の活動を令和2年11月11日(水)に開催しましたが、開催場所は、中学校の空き教室を無料(光熱水費も含む)で提供を受けています。
- 活動内容は毎月、サロン、中学校、社会福祉協議会の3者で協議をして決めるため、それぞれの知識や経験を生かしてのバラエティー豊かな活動計画になっています。
- 活動には中学校の職員(校長、教頭等)も参加しており、地域と学校の連携ができています。

主な活動内容は、毎回

- 1 学校の花壇の手入れ、除草作業、校内の清掃活動
- 2 参加者の交流を図るために、茶話会の開催
- 3 生徒の新型コロナウイルスの感染防止を図るため、会員による校内消毒作業の実施

コロナ禍でのサロン活動について



- 校舎外の主に花壇の手入れを工夫(植え付けの仕方等)をしながら活動しています。作業後のお茶会は交流の場となっています。

- ◆ 助成金の活用によりパワーアップした活動
- ◆ サロン活動で使える豆知識
- ◆ サロン活動の醍醐味

など、これからサロン活動を予定している方へのメッセージ



- サロンでの交流が、メンバーの私的交流に発展し、ハイキング会等を開催し、楽しい活動になっています。